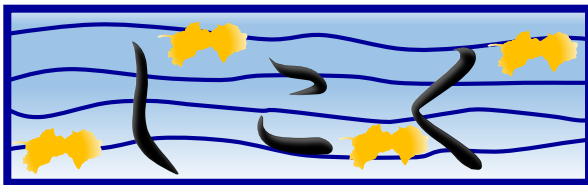


主な記事

HTC実動対抗演習等 (1・3・4面)
BCTC (2面)
旅団ナンバーワン戦士 (2面)
新隊員後期教育 (2面)

1



令和4年(2022年)6・7月 第175号

旅団長統率方針「任務必成」
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311 (内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

We are 機動旅団

北へ南へ各部隊練成訓練を実施



6月の上富良野演習場



然別演習場において
練成射撃をするMCV

第14旅団(旅団長
遠藤充陸将補)は、5
月下旬から7月中旬ま
での間、北海道の上富
良野演習場、然別演習
場、矢臼別演習場、静
内対空射撃場及び鹿児
島の佐多射撃場にお
いて、各種練成訓練を
行った。

関連③・④面

■Gグラウンド検証射撃支援
第50普通科連隊は、矢臼別演習場において富士学校が行う検証射撃の支援を実施し検証データの収集に寄与した。



強装薬で射撃をする120mm迫撃砲

■北海道訓練センター(HTC)
実動対抗演習
増強第15即応機動連隊(中部方面特科
隊、第14後方支援隊、第14偵察隊、第14
情報隊、第14施設隊、第14通信隊、第14
施設群の一部が配属)は、上富良野演習
場において、連隊規模の対抗演習を実施
し、敵部隊の侵攻を阻止し任務を完遂し
た。



次の陣地に速やかに移動するWAPC

■中・重砲長距離射撃訓練
中部方面特科隊は、矢臼別演習場において、長距離射撃及び夜間における照明弾射撃を実施し射撃練度の維持・向上を図った。



暗闇の中射撃を行うFH-70

■対空実射訓練(近SAM)
第14高射特科隊及び第15即応機動連隊は、静内対空射撃場において、実目標に対する射撃訓練を実施して、対空実射練度の維持向上を図った。



目標を捕捉・射撃する隊員



水際射撃を行うFH-70



射撃地域へ移動するUH-1J



発進装置の機能点検を行う隊員

■水際射撃
中部方面特科隊は、主力を北海道に展開させ、一部をもちて佐多射撃場において水際射撃訓練を実施し、水際射撃の向上を図った。

■ドアガン射撃訓練
第14飛行隊は、佐多射撃場において、ホバリング及び移動間における、ヘリコプターからの機関銃射撃(ドアガン射撃)を実施し、12・7mm重機関銃(5・56mm及び5・7mm)の射撃能力の向上を図った。

■無人偵察機運用訓練
第14情報隊は、矢臼別演習場において、編成後の初めとなる長距離機動展開を行うため、演習場を用いた発進試験を行った。

★：今回の練成訓練で使用した演習場の場所

JXR 様々なケースを想定して

第14旅団は、6月下旬、善通寺駐屯地のほか四国内各地において令和4年度自衛隊統合防災演習（04 JXR）に参加した。訓練では、南海トラフ地震発生時における様々な被害ケースを想定し、部隊運用に係る指揮幕僚活動を演練するとともに、第50普通科連隊及び第14偵察隊が被害情報の収集を行った。また、四国地区の関係部外機関等及び自治体防災等担当者、旅団司令部で実施した作戦会議の様子及び装備品の研修など、組織の理解促進を図った。

関係部外機関等との連携（装備品展示）



善通寺駐屯地の様子



BCTC

旅団演習

旅団は、7月上旬、善通寺駐屯地及び川西駐屯地において旅団演習を指揮所訓練センター（BCTC）の支援を得て実施した。本訓練は火力調整所、対空作戦指揮所の業務要領を具体化させるための検証を目的として実施し、旅団司令部の指揮幕僚活動能力の向上を図った。

システム通信訓練 集合訓練等

第14旅団は、7月中旬、善通寺駐屯地において令和4年度旅団システム通信訓練を実施した。訓練では、旅団システム通信組織を構成し、旅団の通信能力の向上を図るとともに、8月から実施する旅団演習の整齊円滑な通信の確保について確認した。



通信展開の様子

部内表彰

- 第194期初級陸曹
特技課程「給養」
【学校長賞】
中部方面特科隊第1中隊
3等陸曹 矢野 良大郎
- 第34期初級陸曹
短SAM射撃整備課程
【学校長賞】
第14後方支援隊第2整備中隊
3等陸曹 藤井 大志
- 三軒屋駐屯地警備支援
【勤務優秀】
中部方面特科隊第1中隊
陸士長 兵頭 孟流
同 第3中隊
1等陸士 上河 葵

旅団ナンバーワン戦士

第50普通科連隊が

総ナメ

第14旅団は、毎年准曹士の戦技意欲の向上及び士気の高揚を目的として、准曹士の戦技優秀者を「旅団ナンバーワン戦士」に認定しており、昨年度の旅団ナンバーワン戦士を認定した。「旅団ナンバーワン戦士」の認定は各種検定（体力・格闘・救急法）を高い基準で合格し、かつ各射撃のトップとなった隊員を認定している。

拳銃射撃【9mm拳銃の部】

第50普通科連隊

2等陸曹 中島 健一



小銃射撃【准曹の部】

第50普通科連隊

2等陸曹 城間 雄也



小銃射撃【陸士の部】

第50普通科連隊

陸士長 松村 安希朗



機関銃射撃【准曹の部】

第50普通科連隊

3等陸曹 角本 春一



第50普通科連隊



射撃検定（軽火器）



120Mの射撃準備（迫撃砲）



木杭の作成（施設）

第14通信隊



無線の送信修技（暗号電信）

第14後方支援隊



天幕の開設（需品）

第14後方支援隊



工具の取扱い（装輪車整備）

いい汗、流してます。

各部隊で新隊員後期教育実施中

第15即応機動連隊



81Mの射撃準備（迫撃砲）



車両整備練度判定（機甲）



戦闘訓練（軽火器）

中部方面特科隊



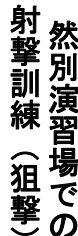
操砲訓練（野戦砲）

第 1 5 即応機動連隊

キツネ狩り作戦大成功！

增強第15即応機動連隊が奮戦

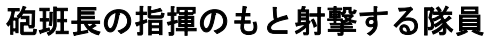
構想を示達する福井連隊長



水際射撃を実施 中部方面特科隊

未来位置射撃要領の確立

練団多之



中部方面特科隊（隊長 服部真之介1等陸佐）は、5月下旬、佐多射撃場において「令和4年度旅団水際射撃（りゅう弾砲射撃）訓練」を実施した。

第14情報隊 北の大地へ機動展開



矢臼別演習場に進入する車両

第14情報隊（隊長 甲斐清博2等陸佐）は、6月中旬に矢臼別演習場に向けて第14情報隊創隊後初めてとなる長距離機動展開訓練を実施した。

情報幹部（鎌田聡1等陸尉）は、「本訓練は、車両と船舶を使用した長距離機動及び現地における部隊展開の練度向上を目的としている。訓練では隊長の要望事項である「凡事徹底」を各隊員に認識させ、一件の事故も発生させることなく所望の成果を上げたい。」と訓練参加にあたり抱負を述べた。

部隊は昼夜間にわたる機動や各種気象状況下における展開を実施した。

甲斐隊長は、「本訓練を一件の事故も無く終えることが出来た。隊員一人一人



が安全管理に留意するとともに各種状況に迅速に対応することが出来た。引き続き任務遂行に必要な各種能力の向上を図る。」と本訓練の所見を述べた。

発射装置を卸下する隊員達

との連携強化

防災フェスティバル

第50普通科連隊（連隊長 溝口光章1等陸佐）は、5月下旬、高知県四万十市不破（四万十川左岸河川敷）において、高知県防災会議等が主催する令和4年度高知県総合防災訓練及び地域防災フェスティバルに参加した。

本訓練は、南海トラフ地震・豪雨災害の発生を想定したものであり、同地域を担当する第2中隊と高知県幡多地区（6市町村）の応急救助機関との共同による救助救出訓練、土のうによる水防訓練等を実施し、救助活動等に係る連携の強化を図った。

また、地域防災フェスティバルにおいて装備品展示等を実施し、地域住民の自衛隊に対する理解の促進と信頼の獲得に努めた。

白衛官として戦闘＋救護ができる隊員の育成

第14後方支援隊

???補助担架員とは???
患者の後送に必要な各部隊の担架班の機能を強化することを目的に編成され、傷病者が発生した際には早期に現場もしくはその周辺に進出し、傷病者を掌握・救護し救護員へ傷病者の情報や受傷現場の戦況等を申し送ることを役割として担っている。

???補助担架員になるには???
約3週間行われる補助担架員集合教育に参加し、救急法の理解を深めるための医学的知識や患者搬送法を修得するとともに、衛生資材の申し受け、物品交換、救護員等との連携を演練し、認定を受けて補助担架要員となる。



第一線での傷病者搬送訓練



第14飛行隊と連携した合同訓練

第14後方支援隊（隊長 吉元雄一 1等陸佐）は、6月から約3週間、補助担架に必要な知識及び技能を修得させ、患者後送能力・救急処置能力を向上させるとともに、救急検定評価員を養成することを目的として、令和4年度補助担架員集合教育を実施した。

今回の教育では、北徳島分屯地において第14飛行隊と連携し患者のヘリコプターへの搭載・卸下訓練を行うとともに、国分台演習場で総合訓練を実施した。教育に参加した各隊員は補助担架員としての必要な知識及び技能を修得し、これにより新たに10名の隊員を補助担架員及び救急法検定評価員として認定した。補助担架員として認定された隊員は、それぞれの部隊に戻り、衛生隊員と協力し人的戦闘力の維持に努める。

小隊長 永井睦人2等陸尉（当時）

監視哨地域の安全化



第14偵察隊

小隊訓練検閲を実施 あらゆる状況を克服し任務完遂

第14偵察隊（隊長 今村正文2等陸佐）は6月上旬、国分台演習場において小隊訓練検閲を実施した。

本訓練検閲では、旅団偵察隊内偵察小隊としての行動について各種行動の練度を評価した。

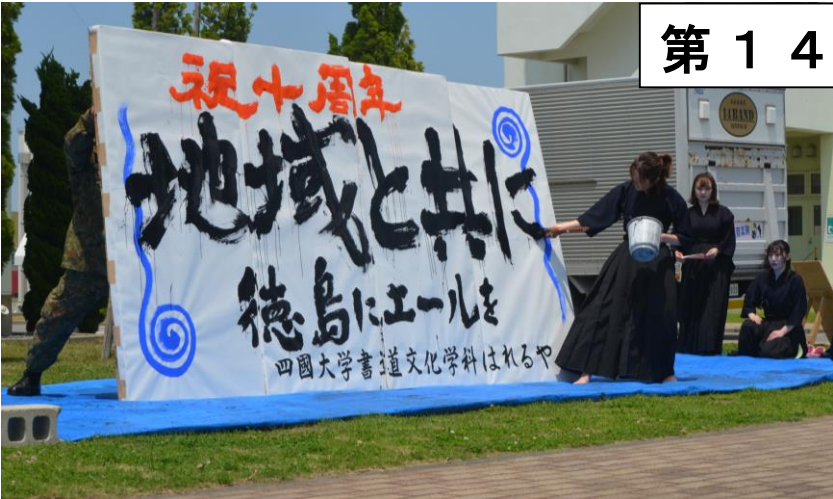
小隊訓練検閲に先立ち、善通寺駐屯地において隊容検査として準備状況を確認した。特に、第一線救護及び対特殊武器防護などの状況を迅速・確実に対応できることを確認した。また関係法令に係る識能試験を実施し、全隊員が任務遂行に必要な知識をおおむね修得していることを確認した。

その後小隊は、国分台演習場において監視網を構成し、継続的な監視により敵情解明に資する情報を獲得した。

小隊長（永井睦人2等陸尉）の指揮のもと、本訓練検閲の統裁官要望事項である「実任務を意識して行動せよ」「生き残って情報を獲得せよ」「安全管理」の3点を実践し全隊員が一丸となり、一件の事故も無く任務完遂し訓練検閲を終了した。

第14施設隊

徳島駐屯地開設10周年 記念行事開催



四国大学の学生による書道パフォーマンス

観閲行進

第14施設隊（隊長 澤水隆一 2等陸佐）は、5月22日、徳島駐屯地において「地域と共に」をテーマに徳島駐屯地開設10周年記念行事を挙行了した。

本行事は、国会議員、徳島県知事及び地元阿南市長をはじめ、各機関の長、各協力団体の会長等の招待者の他、駐屯地を一般開放し、約2100名の方々に来場いただいた。

晴天にも恵まれ、式典では観閲式、音楽演奏及び模擬戦闘訓練展示を実施した他、装備品展示、体験搭乗及び四国大学の学生による書道パフォーマンスと各所で賑わいを見せた。

また、前日の21日には、阿南市内において、駐屯地の協力団体である徳島駐屯地友の会が主催し、自衛隊協力者や地元中高生等を招待し、駐屯地開設10周年を記念した前日祭が行われた。

前日祭では、徳島県出身の第34代陸上幕僚長岩田氏を招いた記念講演、中部方面音楽隊による記念コンサートも実施された。両日も盛況のうちに終了することができた。



第14特殊武器防護隊

初級化学特技検定

第14特殊武器防護隊(隊長 西原清隆3等陸佐)は、5月下旬、善通寺駐屯地において初級化学特技受検者2名に対し練成及び検定を実施した。

手として必要な知識及び技能を評価・判定するものであり、受検者2名は見事合格し特技を付与された。今後、第14特殊武器防護隊の化学手として厳しい訓練に励んでいく。



除染中の様子



検知器材の取扱い要領について教育を実施



放射線測定器材を操作する隊員

化学科部隊において、除染、発煙、焼夷(しやうい)、対焼夷等に必要機材の操作を実施する隊員

化学手とは？

第14通信隊



集結地において警戒を行う隊員

隊練成訓練(小隊検閲)



有線構成を行う隊員

第14通信隊(隊長 小野田怜2等陸佐)は、7月上旬、国分台演習場において、練成訓練を実施した。高温多湿の中での訓練であったが、「持てる力を最大限に発揮せよ」を合言葉に隊員一丸と

なつて任務を遂行した。この際、2個小隊の練度判定(訓練検閲)を実施した。本検閲がデビュー戦といえる若い小隊長を、古参の小隊陸曹以下がしっかりと補佐し、良好な評価を得ることが出来た。



次々と起こる状況に対応する
本検閲デビュー戦の豊岡3尉

第14旅団司令部付隊

部隊紹介「医務陸曹」

今回は、旅団司令部医務官室が実施している巡回診療について紹介します。

医務官室では、方面の指示により、各駐屯地の診療環境の地域格差の是正を図ることを目的として医官不在駐屯地に対し、定期的に医官による診療や心理相談等を行う巡回診療を実施しています。この巡回に併せて、医務陸曹として各駐屯地部隊の健康係と連携し、旅団の健康管理の促進に努めています。



健康係と調整を行う徳田1曹

～隊員の皆さんへ～

隊員の皆さんには、巡回診療の場を活用し、診療はもとより、健康相談、メンタルに関する相談、各種試験時等に実施する臨時健康診断の相談等医療に関する相談も含めて気兼ねなく活用してもらいたいと思います。

また車両操縦手として医務官室医務陸曹も同行していますので、健康係業務の相談や質問等も受け付けています。巡回診療の実施日は医務官室よりアナウンスしていますので、巡回診療の場を活用してください。



左：医務官 三沢和央2等陸佐
右：医務陸曹 徳田知史1等陸曹

第14音楽隊(隊長 中福島昭洋2等陸尉)は、6月26日、愛媛県喜多郡内子町において、地元中学生の演奏指導及び地域住民に対するホール演奏を行った。

指導は中学生を対象に各楽器ごと音の出し方や表現方法、各パートの悩みや特性に合った適切なアドバイスをを行った。ホルンパートを指導した菊池士長は、「呼吸法を重点的に教え、イメージを膨らませて吹くように伝えたら、表情豊かに演奏できるようになった。中学生の純粋な気持ちと眼差しに刺激を受け、お互いにとって学べる良い機会でした。」と述べた。

ホール演奏では、隊員のクラリネットソロ「メモリーズ・オブ・ユー」やAIの「アルデバラン」、夏にぴったりの北島三郎の「まつり」、昨年流行した「2021 J-POP ベストヒットスペシャルメドレー」等、大人から子供まで楽しめる演奏を行い会場を大いに沸かせた。

第14音楽隊



充実の派遣演奏



中学生に対して演奏指導を行う音楽隊



地域住民に対しホール演奏を行う音楽隊

隊員家族投稿

「新生活」

第50普通科連隊第3中隊
3曹 杉原 弘之
妻 万記

自衛官の夫と結婚して一年が経ちました。新婚当初、夫は訓練等で家にいないことが多く、初めは「また帰ってこないのか」と「今日も遅いし」と思うことが正直多かったです。でも1週間ぶりに「ただいま」と元気に仕事の達成感を感じながら帰ってきた夫の姿や、晩御飯を「美味しい」とモリモリ食べてくれる夫の姿を見ると普通だったかもしれない当たり前のことに大きな安心感とうれしさを感じることはなかったかもしれません。こんな当たり前のことにとっても幸せを感じるようになりました。結婚して1年がたった今でも、付き合っている頃と変わらず新鮮な気持ちで毎日を過ごすことが出来ています。



また共働きの私たちですが、夫が平日休みを取れた時は家事を手伝ってくれたり、早く帰ってきたときは晩御飯を手伝ってくれたりし、夫婦で協力しながら生活を送れることに感謝の気持ちでいっぱいです。夫婦の時間が取れる時には、いろいろなところへ連れて行ってくれたり楽しませてくれます。夏には、私たち夫婦の間に家族も増えます。自衛官の妻として、1児の母として強い妻になれるように、これから夫婦で支えあいながら頑張っていきたいと思えます。

機動旅団の防空を担う

若きプロフェッショナル

今回は対空作戦の骨幹部隊である、第14高射特科隊に所属する松平3曹にスポットを当てていきます。

松平3曹に聞きました！
日頃どのようなお仕事をされていますか？

愛媛県松山市に所在する第14高射特科隊において第2射撃小隊の射撃統制手(射統手)として勤務しています。射統手は、第14高射特科隊が装備する11式短距離地对空誘導弾(11短SAM)の射撃統制装置(FCS)を操作して、レーダーによる目標の搜索・追従及び射撃に必要な操作を行う対空射撃実施の要となる職務です。非常に重要な職務であり、プレッシャーを感じるときもあります。その反面、十分なやりがいを感じています。今年度実施される令和4年度対空実射訓練において、良好な成果が獲得できるよう、日々努力を怠ることなく、練度向上のため訓練に取り組んでいきます。

周りの方に聞きました！松平3曹はどんな人ですか？

性格は明るく、先輩・後輩関係なく誰とでも仲が良いです。少しお調子者なところもあり、普段はおちゃらけている事が多いですが、訓練・演習になると操作員として抜群の能力を発揮し、FCSの操作だけでなく、小隊長及び班長の補佐も実施し、部隊の任務達成に大きく寄与しています。

第14高射特科隊 山本3曹



第14高射特科隊
松平 颯3等陸曹
(まつだいら はやて)
出身：東京都
趣味：ポケモンカード
好きな食べ物：チーズ竹輪



第14高射特科隊の11短SAM要員は、陸曹になると千葉県にある高射学校の「11短SAM課程」に入校し、陸曹として必要な資質の涵養及び操作員として必要な知識と技能を修得する。部隊で練成訓練を実施し、日々練度向上にむかひ松平3曹の真剣な眼差しからは、令和4年度対空実射訓練に対する本気さが窺える。



陸上自衛隊 第14旅団

逐次発信中！



陸上自衛隊
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル
(YouTube) に
「自衛隊式感染症予防」
を掲載中！